

2024年3月吉日

日本儒教学会会員 各位

日本儒教学会  
会長 小島 毅

## 2024年度大会開催のお知らせと研究発表の募集

立春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本儒教学会では、2024年度大会を本年5月25日（土）に二松学舎大学九段キャンパスにて開催いたします。なお、本年は会場での対面式のみで開催する予定です。

つきましては、下記の要領で研究発表を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

なお、2024年度大会において開催するシンポジウム（もしくは講演会）につきましては、別紙後日企画が決まりしだい学会ホームページにてご案内申し上げます。

### 研究発表募集要領

- 研究発表テーマ：儒教に関する最新の学術的成果
- 発表時間：発表20分 質疑応答10分（発表には司会がつきます）
- 応募締切：2024年3月31日（日）
- 応募方法：研究発表は、未発表のものに限ります。応募される方は、氏名（フリガナ）・住所・電話番号・Eメールアドレス・所属を明記のうえ、発表の題目と要旨（800字以内）をEメールまたは郵送（締切日必着）にて学会事務局までお送りください。大会準備委員会による査読のうえ、発表の可否を決定させていただきます。
- 応募・お問合せ先：日本儒教学会事務局  
Eメールアドレス ribenrujiao@yahoo.co.jp  
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 東洋哲学研究室気付

以上

## 2024年度大会シンポジウムについて

日本儒教学会2024年度大会では、午後に下記のシンポジウムの開催を予定しております。開催時間の詳細が決定いたしましたら、本学会ホームページ等でお知らせいたします。奮ってご参加ください。

### 記

日本儒教学会大会シンポジウム「18世紀の東アジアにおける戴震」

#### 趣旨

今年、戴震（1724-1777）の生誕300周年にあたる。（戴震の生年は雍正元年＝1723年だが、12月24日生まれであるため現在は西暦1724年生まれと表記されることが多い。）

そこで3名のかたに報告をお願いした石井剛氏は中国近現代思想史の研究者で『戴震と中国近代哲学——漢学から哲学へ』（知泉書院）などで知られる。種村和史氏は『詩経解釈学の継承と変容——北宋詩経学を中心に据えて』（研文出版）という千頁の大冊を公刊したのち、近年は戴震についての論文も発表している。金光来氏は朝鮮儒学を専門とし、李瀾（星湖、1681-1763）を扱った博士論文「星湖心学形成の研究—堅守と自得の折衷そして西学」でイエズス会系の漢訳靈魂論書の影響について論じている。また徳川儒学を研究する高山大毅氏に18世紀東アジアという観点を含めてコメントしてもらおう。

報告者（テーマはいずれも仮題）

- ・石井 剛（東京大学教授）  
「百年前の戴震—「科学と人生観」論戦と生誕二百周年記念活動」
- ・種村和史（慶應義塾大学教授）  
「戴震の詩経研究に見られる宋代詩経解釈学の影響」
- ・金 光来（東京大学特任研究員）  
「朝鮮実学の心論—戴震との比較を交えて」

コメンテーター 高山大毅（東京大学准教授）

司 会 垣内景子（早稲田大学教授）